

2019年8月期 中間決算短信 (2018年8月21日～2019年2月20日)

2019年3月29日

上場取引所 東証

ファンド名 J P X日経400ベア2倍上場投信 (ダブルインバース)
 コード番号 1469
 連動対象指標 J P X日経400ダブルインバース・インデックス
 主要投資資産 公社債
 売買単位 10口
 管理会社 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社 URL <http://www.simplexasset.com/>
 代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
 問合せ先責任者 業務本部 山口 節一 TEL (03)5208-5211

半期報告書提出予定日 2019年5月20日

I ファンドの運用状況

1. 2019年2月中間期の運用状況 (2018年8月21日～2019年2月20日)

(1) 資産内訳

(百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月中間期	0	(0.0)	443	(100.0)	443	(100.0)
2018年8月期	0	(0.0)	529	(100.0)	529	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数 (①)	設定口数 (②)	解約口数 (③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
2019年2月中間期	105	25	40	90

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末 (前計算期間末) 発行済口数) × 10)
	百万円	百万円	百万円	円
2019年2月中間期	506	62	443	49,330
2018年8月期	561	31	529	50,450

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更
② ①以外の変更

無
無

II 中間財務諸表

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第3期 (平成30年8月20日現在)	当中間計算期間末 (平成31年2月20日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	501,113,120	426,779,391
派生商品評価勘定	32,295,882	-
前払金	-	54,689,500
差入委託証拠金	27,960,000	25,515,000
流動資産合計	561,369,002	506,983,891
資産合計	561,369,002	506,983,891
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	707,385	58,712,355
前受金	27,425,000	-
未払金	-	414,776
未払受託者報酬	150,367	144,760
未払委託者報酬	2,105,086	2,026,592
未払利息	352	233
その他未払費用	1,278,875	1,689,806
流動負債合計	31,667,065	62,988,522
負債合計	31,667,065	62,988,522
純資産の部		
元本等		
元本	1,050,000,000	900,000,000
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金(△)	△520,298,063	△456,004,631
(分配準備積立金)	△29,366,886	△29,366,886
元本等合計	529,701,937	443,995,369
純資産合計	529,701,937	443,995,369
負債純資産合計	561,369,002	506,983,891

（2）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 （自 平成29年8月21日 至 平成30年2月20日）	当中間計算期間 （自 平成30年8月21日 至 平成31年2月20日）
営業収益		
受取利息	4,338	4,982
派生商品取引等損益	△168,176,197	32,344,239
営業収益合計	△168,171,859	32,349,221
営業費用		
支払利息	126,443	79,631
受託者報酬	185,741	144,760
委託者報酬	2,600,342	2,026,592
その他費用	2,238,221	1,689,806
営業費用合計	5,150,747	3,940,789
営業利益又は営業損失（△）	△173,322,606	28,408,432
経常利益又は経常損失（△）	△173,322,606	28,408,432
中間純利益又は中間純損失（△）	△173,322,606	28,408,432
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	-	-
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△438,293,626	△520,298,063
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	174,790,000
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	174,790,000
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	97,260,000	138,905,000
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	97,260,000	138,905,000
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	△708,876,232	△456,004,631

（3）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	株価指数先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。
----------------------	---------------------------------------

（中間貸借対照表に関する注記）

区分	第3期 (平成30年8月20日現在)	当中間計算期間末 (平成31年2月20日現在)
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額	期首元本額 1,200,000,000円 期中追加設定元本額 200,000,000円 期中解約元本額 350,000,000円	期首元本額 1,050,000,000円 期中追加設定元本額 250,000,000円 期中解約元本額 400,000,000円
2. 受益権の総数	105,000口	90,000口
3. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っている差額 520,298,063円	中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っている差額 456,004,631円

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	前中間計算期間 (自平成29年8月21日 至平成30年2月20日)	当中間計算期間 (自平成30年8月21日 至平成31年2月20日)
その他費用	主に印刷費用、上場関連費用及びライセンス料であります。	同左

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	第3期 (平成30年8月20日現在)	当中間計算期間末 (平成31年2月20日現在)
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているためその差額はありません。	中間貸借対照表計上額は中間期末の時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 該当事項はありません。 (2) デリバティブ取引 「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 「中間注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算出された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

J P X日経400ベア2倍上場投信（ダブルインバース）（1469）2019年8月期中間決算短信

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（株式関連）

第3期（平成30年8月20日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	1,087,764,497	—	1,056,176,000	31,588,497
合計		1,087,764,497	—	1,056,176,000	31,588,497

当中間計算期間末（平成31年2月20日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	831,801,645	—	890,514,000	△58,712,355
合計		831,801,645	—	890,514,000	△58,712,355

（注）1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおります。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（1口当たり情報に関する注記）

第3期 （平成30年8月20日現在）	当中間計算期間末 （平成31年2月20日現在）
1口当たりの純資産額 5,045円	1口当たりの純資産額 4,933円